

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	シェルパ		
○保護者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2025年 1月 16日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	18	(回答者数) 9
○従業者評価実施期間	2024年 12月 1日		～ 2024年 12月 31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	2025年 2月 20日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	支援プログラムが固定化されずに、客観的な評価もいれながら専門性をもった支援をおこなわれている	支援内容について、他職員とも相談しながら考えている。検査等で客観的に評価を行える部分は行うようにしている	幅広い知識をえていけるように研修等自己研鑽をしていくそれぞれの専門性から情報を発信していく。児童が自己決定をしていける為の土台づくりを意識しプログラムを考えていきようにしたい。
2	保護者と情報共有をしながら、支援をすすめていける部分	保護者との情報共有を大切にしながら進めていくところ。事業所で出来ただけでなく、少しでも日常でも活かしてもらえる事を意識している	たわいない日常的な情報交換が出来るような雰囲気づくりや会話の内容についても研鑽していく
3	こどもが楽しく通所できているところ	こどもの反応をみながら、支援を考えている	児童の好きなものは意識はしているが、得意を伸ばすについては、取組みきれていない部分であり、意識し続け、考え続けていく事で、楽しく通所できる事業所を目指していく。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者会や地域交流などについて	保護者会のニーズが不明であり、希望があるとは考えていなかった。地域交流については、どのような交流の仕方があるのか想像できていない。	保護者会のニーズについて確認していく。地域交流については、どのような場で参加できるかについて検討していく
2	ペアトレなど研修機会	ペアトレのような複数回の参加が必要なものは人数の確保の課題がある。この町でも行われているが、参加者が集まっていない現状がある。	ニーズの確認とペアトレが行える職員の育成。ニーズがあれば日程調整なども含めたペアトレ。もしくはそれに準じたものを検討していく必要はある
3	事業所内の直接的な支援以外の情報共有	まずは、日常的に行われている支援の制度について理解がすすんでいない。それ以外の業務については、より理解が得られにくい。	障害福祉サービス制度について、すすめていく。そのベースの上でその他の活動などについても理解を促していく。